

テーマ名：問題発見力および持続可能な未来づくりへの責任感の育成

札幌山の手高等学校

校長 西岡憲廣

担当者 中鉢雄己彦

1. 趣旨 本校の ESD の特徴

本校は、「真理を求め、知性を磨き、敬愛、自立の精神を養い心身ともに、健康な身体を持つ良き社会人として国家社会に貢献する、有益な人間を育てる」ことを建学の精神としている。

ESD は将来社会にでたときの課題解決能力として重要な教育であると捉え、ESD の実践を通して自ら考えて行動できる力の育成を目標としている。また、身の回りに起こっている問題について発見する力を身に付けることで、世界中で起こっている問題についても考察し、持続可能な未来づくりへの責任感が身に付くよう意識して指導している。

2. 活動・全体計画

総合的な探求の時間を中心に全学年でテーマを設定して活動してきたが、新型コロナウイルス感染防止の観点からグループでの学習活動をほとんどすることができず、個人での学習活動が中心となってしまった。

その他、環境に係わる学習として各学年で校外清掃を予定していたが、こちらも実施することができなかった。

3. 活動事例

<導入>

ESD を通して身につけたい力を提示し、これからの活動で常に意識するよう指導した。導入として、異文化理解・環境・世界遺産・ボランティアの4つの大テーマを11の小テーマに分け、発表させた。この活動を通して持続可能な開発に関する価値観を意識させることができた。

<環境に係わる学習>

校内でできる環境問題とボランティアについて調べ学習を中心に活動し、持続可能な活動を意識させた。

<防災に係わる学習>

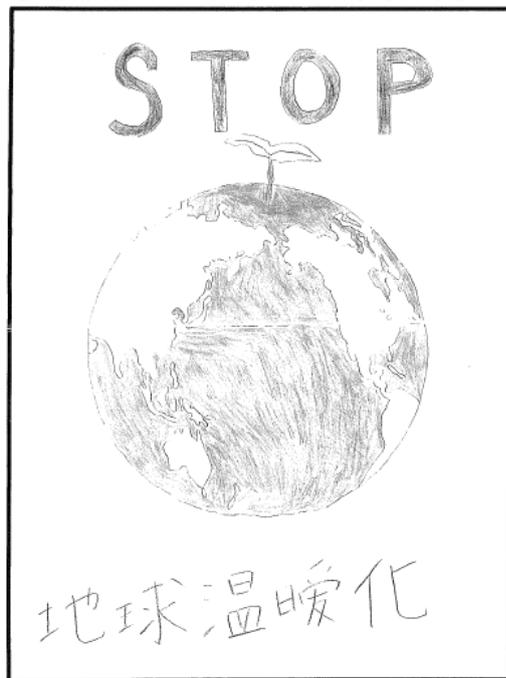
ハザードマップなどを用いて知識を深め、自分たちができる防災について考察させた。

4. 成果と課題

2020年から猛威を振るっている新型コロナウイルス感染防止の観点で、グループでの活動を行うことができていない。この先もこのような状況が続くことが予想されるため、生徒たちの学びを止めないよう様々な対策を講じる必要があると認識している。

人と人が物理的につながることが難しくなったこの時代に、これまでとは違った形で助け合い・高めあいながら持続可能な方法を模索することはユネスコスクールとして意識していかなければならないと考えている。生徒の自主的な活動が促されるように授業時間はもちろんのこと様々な場面で意識付けができるよう計画する予定である。

14
⑩ 活動を広めるためのポスターを作成しよう



14
⑪ 活動を広めるためのポスターを作成しよう

「食べる」ことがボランティアにつながる活動について

挑戦しよう!

- 出されたものは全部食べよう。
- 子供食堂
- お金の寄付

ボランティアとは?

- 食べることの大切さを伝える。
- 普通の暮らしを支える
- セカンド・ハーベスト
ミッパン

(まだ「食べれるけど」廃棄しないといけないう物を集めて提供)